

三菱電機 汎用 シーケンサ

CC-Link IEフィールドネットワーク
リモートIO-LinkユニットFBリファレンス
(MELSEC iQ-R対応)

目次

第1章	ユニットFB一覧	2
第2章	CC-Link IEフィールドネットワークリモートIO-LinkユニットFB	4
2.1	M+NZ2GF2S-60IOLD8_RemoteBufMemRd	4
2.2	M+NZ2GF2S-60IOLD8_RemoteBufMemWt	7
2.3	M+NZ2GF2S-60IOLD8_OutputOnCntRd	10
2.4	M+NZ2GF2S-60IOLD8_OutputOnCntClr	13
2.5	M+NZ2GF2S-60IOLD8_UnitParamRd	16
2.6	M+NZ2GF2S-60IOLD8_UnitParamWt	19
2.7	M+NZ2GF2S-60IOLD8_DeviceParamRd	22
2.8	M+NZ2GF2S-60IOLD8_DeviceParamWt	26
2.9	M+NZ2GF2S-60IOLD8_DeviceChg	30
2.10	M+NZ2GF2S-60IOLD8_EventRd	33
2.11	M+NZ2GF2S-60IOLD8_EventClr	36
	命令索引	41
	改訂履歴	43
	商標	44

1 ユニットFB一覧

CC-Link IEフィールドネットワークIO-LinkユニットのユニットFBは、下記のとおりです。

名称 ^{*1}	内容
M+NZ2GF2S-60IOLD8_RemoteBufMemRd	指定したリモートバッファメモリの値を読み出します。
M+NZ2GF2S-60IOLD8_RemoteBufMemWt	指定したリモートバッファメモリに値を書き込みます。
M+NZ2GF2S-60IOLD8_OutputOnCntRd	IO-Linkユニットの出力ON回数積算値を読み出します。
M+NZ2GF2S-60IOLD8_OutputOnCntClr	IO-Linkユニットの出力ON回数積算値をクリアします。
M+NZ2GF2S-60IOLD8_UnitParamRd	IO-Linkユニットのパラメータを読み出します。
M+NZ2GF2S-60IOLD8_UnitParamWt	IO-Linkユニットのパラメータを書き込みます。
M+NZ2GF2S-60IOLD8_DeviceParamRd	指定したパラメータをIO-Linkデバイスから読み出します。
M+NZ2GF2S-60IOLD8_DeviceParamWt	指定したパラメータをIO-Linkデバイスに書き込みます。
M+NZ2GF2S-60IOLD8_DeviceChg	デバイス交換フラグをONし、断線エラーを検出しないようにします。 また、IO-Linkモードでは入出力を無効、SIOモードでは入出力をOFFにします。 電源ON中にデバイス交換を実施する場合に使用します。
M+NZ2GF2S-60IOLD8_EventRd	未確認のイベントのうち最も古いイベント情報を1件読み出します。
M+NZ2GF2S-60IOLD8_EventClr	イベント履歴をクリアします。

*1 ユニットFB名称の末尾には"_00A"などのユニットFBのバージョン情報が表示されますが、本リファレンスでは記載しません。

注意事項

- 本ユニットFBはGX Works3用のユニットFBです。
- 本ユニットFBは、エラー処理を含んでいません。エラー処理については、システムや要求動作に合わせて別途作成してください。
- 割込みプログラム内では、本ユニットFBを使用しないでください。
- 本ユニットFBは、トランジェント伝送を使用しているため、トランジェント伝送のインタロックプログラムが必要です。インタロックプログラムについては別途作成してください。
- 本ユニットFBではインデックスレジスタZ7~Z9を使用しています。割込みプログラムを使用する場合は、該当インデックスレジスタを使用しないでください。
- 本ユニットFBでは、すべての入力ラベルにおいて回路の設定が必要です。

2 CC-Link IEフィールドネットワークリモートIO-LinkユニットFB

2.1 M+NZ2GF2S-60IOLD8_RemoteBufMemRd

名称

M+NZ2GF2S-60IOLD8_RemoteBufMemRd

概要

項目	内容																								
機能概要	指定したリモートバッファメモリの値を読み出します。																								
シンボル	<div><div>M+NZ2GF2S-60IOLD8_RemoteBufMemRd</div><table><tr><td>(1) —</td><td>B:i_bEN</td><td>o_bENO:B</td><td>(7)</td></tr><tr><td>(2) —</td><td>UW:i_uStart_IO_No</td><td>o_bOK:B</td><td>(8)</td></tr><tr><td>(3) —</td><td>UW:i_uStation_No</td><td>o_uReadData:UW</td><td>(9)</td></tr><tr><td>(4) —</td><td>UW:i_uCH_No</td><td>o_bErr:B</td><td>(10)</td></tr><tr><td>(5) —</td><td>UW:i_uAddress</td><td>o_uErrId:UW</td><td>(11)</td></tr><tr><td>(6) —</td><td>UW:i_uReadPoint</td><td></td><td></td></tr></table></div>	(1) —	B:i_bEN	o_bENO:B	(7)	(2) —	UW:i_uStart_IO_No	o_bOK:B	(8)	(3) —	UW:i_uStation_No	o_uReadData:UW	(9)	(4) —	UW:i_uCH_No	o_bErr:B	(10)	(5) —	UW:i_uAddress	o_uErrId:UW	(11)	(6) —	UW:i_uReadPoint		
(1) —	B:i_bEN	o_bENO:B	(7)																						
(2) —	UW:i_uStart_IO_No	o_bOK:B	(8)																						
(3) —	UW:i_uStation_No	o_uReadData:UW	(9)																						
(4) —	UW:i_uCH_No	o_bErr:B	(10)																						
(5) —	UW:i_uAddress	o_uErrId:UW	(11)																						
(6) —	UW:i_uReadPoint																								

使用ラベル

■入力引数

No.	変数名	名称	データ型	有効範囲	内容
(1)	i_bEN	実行指令	ビット	ON, OFF	ON: ユニットFBを起動する。 OFF: ユニットFBを起動しない。
(2)	i_uStart_IO_No	ユニット装着XYアドレス	ワード[符号なし]	CPUユニットの入出力点数に依存	CC-Link IEフィールドネットワークマスタ・ローカルユニットが装着されている先頭入出力番号を指定します。
(3)	i_uStation_No	局番	ワード[符号なし]	1~120	対象のIO-Linkユニットの局番を指定します。
(4)	i_uCH_No	自局使用チャンネル	ワード[符号なし]	1~32	自局から他局へアクセスするためのチャンネルを指定します。
(5)	i_uAddress	リモートバッファメモリアドレス	ワード[符号なし]	0000H~4DFFH	読み出すリモートバッファメモリの先頭アドレスを指定します。
(6)	i_uReadPoint	読み出し点数	ワード[符号なし]	1~240	読み出す点数を指定します。

■出力引数

No.	変数名	名称	データ型	内容	デフォルト値
(7)	o_bENO	実行状態	ビット	ユニットFBの実行状態を出力します。 ON: 実行している。 OFF: 実行していない。	OFF
(8)	o_bOK	正常完了	ビット	ONの場合、ユニットFBの処理が正常完了したことを示します。	OFF
(9)	o_uReadData	読み出しデータ	ワード[符号なし]	読み出したリモートバッファメモリの値を格納する先頭デバイスを指定します。	0
(10)	o_bErr	異常完了	ビット	ONの場合、ユニットFBの処理が異常完了したことを示します。	OFF
(11)	o_uErrId	エラーコード	ワード[符号なし]	異常完了時にエラーコードが格納されます。	0

機能内容

項目	内容	
対象機器	対象ユニット	NZ2GF2S-60IOLD8
	対象ネットワークユニット	<ul style="list-style-type: none"> • RJ71EN71 • RJ71GF11-T2 • RnENCPU(ネットワーク部)
	対象CPUユニット	RCPU
	対象エンジニアリングツール	GX Works3
使用言語	ラダー	
基本ステップ数	221ステップ プログラムに組み込んだFBのステップ数は、使用するCPUユニット、入出力の定義やGX Works3のオプション設定によって異なります。GX Works3のオプション設定については、GX Works3 オペレーティングマニュアルを参照してください。	
機能説明	<p>i_bEN(実行指令)のONでi_uAddress(リモートバッファメモリアドレス)に設定したリモートバッファメモリのアドレスからi_uReadPoint(読出し点数)にて設定した点数分のワードデータを読み出します。読み出したリモートバッファメモリの値はo_uReadData(読出しデータ)に設定したデバイスを先頭にi_uReadPoint(読出し点数)にて設定した点数分のワードデータを格納します。(例えば、入力ラベルのリモートバッファメモリアドレスに1000H、読出し点数に10を設定し、出力ラベルの読出しデータにD100を設定した場合、D100~D109に指定のリモートバッファメモリの値が格納されます。)</p> <div style="text-align: center;"> <pre> (2) (4) (3) ┌──────────┴──────────┐ │ 1000H ──────────> D100 │ │ 1001H ──────────> D101 │ │ ⋮ ──────────> ⋮ │ │ ⋮ ──────────> ⋮ │ │ 1009H ──────────> D109 │ └──────────┬──────────┘ (1) </pre> <p>(1)読出し点数(10ワード) (2)リモートバッファメモリ (3)読出しデータ (4)読出し</p> </div>	
FBコンパイル方式	マクロ型	
FB動作	随時実行型	
FB_ENの入力条件	なし	

項目	内容
入出力信号の動き	<ul style="list-style-type: none"> ・正常完了の場合 <div> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・異常完了の場合 <div> </div> <p> (1)未処理 (2)処理 (3)未更新 (4)更新 (5)エラーコード (a)1スキャンのみONします。 (b)読み出し処理が完了ごとに読み出しデータを更新します。 </p>
注意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・リモートバッファメモリの読み出し処理中にi_bEN(実行指令)をOFFした場合、前回の読み出し処理を行った値が格納されたままとなります。 ・異常が発生した場合は、o_bErr(異常完了)がONし、ユニットFBの処理を中断します。また、o_uErrId(エラーコード)にはエラーコードが格納されます。 ・本ユニットFBは、REMFR命令を使用しています。本ユニットFBを含め他のユニットFBと同時に動作させる場合やプログラムにてREMFR/REMT0命令を使用する場合は自局使用チャンネルが重複しないようにしてください。 ・本ユニットFBはi_bEN(実行指令)のONからo_bOK(正常完了)がONするまで数スキャン必要です。 ・読み出したリモートバッファメモリの値を格納する先頭デバイスは読み出し点数分の連続エリアが必要です。

エラーコード

エラーコード	内容	処置方法
0100H	局番が1~120以外の値に設定されている。	設定を見直した後、再度ユニットFBを実行してください。
0101H	自局使用チャンネル設定範囲外。自局使用チャンネルが1~32以外に設定されている。	設定を見直した後、再度ユニットFBを実行してください。
D000H~DAF9H	CC-Link IEフィールドネットワークに異常が発生した。	エラーコードを下記マニュアルより参照してください。 MELSEC iQ-R CC-Link IEフィールドネットワークユーザーズマニュアル(応用編)

2.2 M+NZ2GF2S-60IOLD8_RemoteBufMemWt

名称

M+NZ2GF2S-60IOLD8_RemoteBufMemWt

2

概要

項目	内容
機能概要	指定したリモートバッファメモリに値を書き込みます。
シンボル	<div><div>M+NZ2GF2S-60IOLD8_RemoteBufMemWt</div><div><div>(1) — B:i_bEN</div><div>(2) — UW:i_uStart_IO_No</div><div>(3) — UW:i_uStation_No</div><div>(4) — UW:i_uCH_No</div><div>(5) — UW:i_uAddress</div><div>(6) — UW:i_uWritePoint</div><div>(7) — UW:i_uWriteData</div></div><div><div>o_bENO:B</div><div>o_bOK:B</div><div>o_bErr:B</div><div>o_uErrId:UW</div></div><div><div>(8)</div><div>(9)</div><div>(10)</div><div>(11)</div></div></div>

使用ラベル

■入力引数

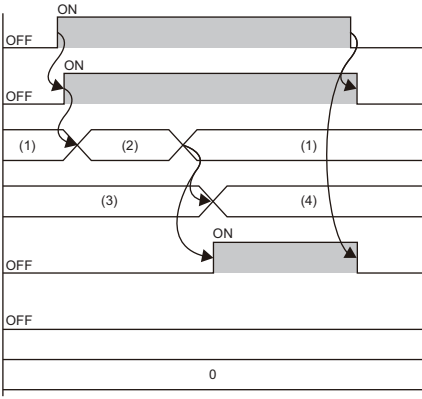
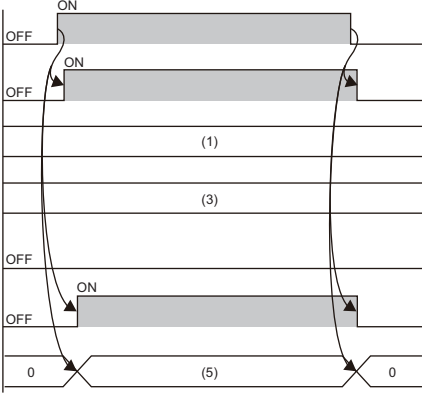
No.	変数名	名称	データ型	有効範囲	内容
(1)	i_bEN	実行指令	ビット	ON, OFF	ON: ユニットFBを起動する。 OFF: ユニットFBを起動しない。
(2)	i_uStart_IO_No	ユニット装着XYアドレス	ワード[符号なし]	CPUユニットの入出力点数に依存	CC-Link IEフィールドネットワークマスタ・ローカルユニットが装着されている先頭入出力番号を指定します。
(3)	i_uStation_No	局番	ワード[符号なし]	1~120	対象のIO-Linkユニットの局番を指定します。
(4)	i_uCH_No	自局使用チャンネル	ワード[符号なし]	1~32	自局から他局へアクセスするためのチャンネルを指定します。
(5)	i_uAddress	リモートバッファメモリアドレス	ワード[符号なし]	0000H~4DFFH	書き込みリモートバッファメモリ先頭アドレスを指定します。
(6)	i_uWritePoint	書き込み点数	ワード[符号なし]	1~240	書き込む点数を指定します。
(7)	i_uWriteData	書き込みデータ	ワード[符号なし]	—	書き込むデータの先頭デバイスを指定します。

■出力引数


No.	変数名	名称	データ型	内容	デフォルト値
(8)	o_bENO	実行状態	ビット	ユニットFBの実行状態を出力します。 ON: 実行している。 OFF: 実行していない。	OFF
(9)	o_bOK	正常完了	ビット	ONの場合、ユニットFBの処理が正常完了したことを示します。	OFF
(10)	o_bErr	異常完了	ビット	ONの場合、ユニットFBの処理が異常完了したことを示します。	OFF
(11)	o_uErrId	エラーコード	ワード[符号なし]	異常完了時にエラーコードが格納されます。	0

機能内容

項目	内容	
対象機器	対象ユニット	NZ2GF2S-60IOLD8
	対象ネットワークユニット	<ul style="list-style-type: none"> • RJ71EN71 • RJ71GF11-T2 • RnENCPU(ネットワーク部)
	対象CPUユニット	RCPU
	対象エンジニアリングツール	GX Works3
使用言語	ラダー	
基本ステップ数	320ステップ プログラムに組み込んだFBのステップ数は、使用するCPUユニット、入出力の定義やGX Works3のオプション設定によって異なります。GX Works3のオプション設定については、GX Works3 オペレーティングマニュアルを参照してください。	
機能説明	<p>i_bEN(実行指令)のONで、i_uWriteData(書き込みデータ)に設定したデバイスを先頭にi_uWritePoint(書き込み点数)にて設定した点数分のワードデータをリモートバッファメモリに書き込みます。(例えば、入力ラベルのリモートバッファメモリアドレスに1000H、書き込み点数に10、書き込みデータにD100を設定した場合、D100~D109の値を指定のリモートバッファメモリに書き込みます。)</p> <div style="text-align: center;"> <pre> graph LR subgraph (2) [] D100 D101 D102 D103 D104 D105 D106 D107 D108 D109 end subgraph (4) [] direction TB W1[] W2[] W3[] W4[] W5[] W6[] W7[] W8[] W9[] W10[] end subgraph (3) [] 1000H 1001H 1002H 1003H 1004H 1005H 1006H 1007H 1008H 1009H end D100 --> W1 D101 --> W2 D102 --> W3 D103 --> W4 D104 --> W5 D105 --> W6 D106 --> W7 D107 --> W8 D108 --> W9 D109 --> W10 W1 --> 1000H W2 --> 1001H W3 --> 1002H W4 --> 1003H W5 --> 1004H W6 --> 1005H W7 --> 1006H W8 --> 1007H W9 --> 1008H W10 --> 1009H </pre> <p>(1)書き込み点数(10ワード) (2)書き込みデータ (3)リモートバッファメモリ (4)書き込み</p> </div>	
FBコンパイル方式	マクロ型	
FB動作	パルス実行型(複数スキャン実行型)	
FB_ENの入力条件	なし	

項目	内容
入出力信号の動き	<ul style="list-style-type: none"> ・正常完了の場合  <ul style="list-style-type: none"> ・異常完了の場合  <p>(1)未処理 (2)処理 (3)未更新 (4)更新 (5)エラーコード</p>
注意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・異常が発生した場合は、o_bErr(異常完了)がONし、ユニットFBの処理を中断します。また、o_uErrId(エラーコード)にはエラーコードが格納されます。 ・本ユニットFBは、REMTO命令を使用しています。本ユニットFBを含め他のユニットFBと同時に動作させる場合やプログラムにてREMFR/REMTO命令を使用する場合は自局使用チャンネルが重複しないようにしてください。 ・本FBはi_bEN(実行指令)のONからo_bOK(正常完了)がONするまで数スキャンが必要です。

エラーコード

エラーコード	内容	処置方法
0100H	局番が1~120以外の値に設定されている。	設定を見直した後、再度ユニットFBを実行してください。
0101H	自局使用チャンネル設定範囲外。自局使用チャンネルが1~32以外に設定されている。	設定を見直した後、再度ユニットFBを実行してください。
D000H~DAF9H	CC-Link IEフィールドネットワークに異常が発生した。	エラーコードを下記マニュアルより参照してください。  MELSEC iQ-R CC-Link IEフィールドネットワークユーザーズマニュアル(応用編)

2.3 M+NZ2GF2S-60IOLD8_OutputOnCntRd

名称

M+NZ2GF2S-60IOLD8_OutputOnCntRd

概要

項目	内容															
機能概要	IO-Linkユニットの出力ON回数積算値を読み出します。															
シンボル	<div><div>M+NZ2GF2S-60IOLD8_OutputOnCntRd</div><table><tr><td>(1) — B:i_bEN</td><td>o_bENO:B</td><td>(5)</td></tr><tr><td>(2) — UW:i_uStart_IO_No</td><td>o_bOK:B</td><td>(6)</td></tr><tr><td>(3) — UW:i_uStation_No</td><td>o_uOutputONTotat:UW</td><td>(7)</td></tr><tr><td>(4) — UW:i_uCH_No</td><td>o_bErr:B</td><td>(8)</td></tr><tr><td></td><td>o_uErrId:UW</td><td>(9)</td></tr></table></div>	(1) — B:i_bEN	o_bENO:B	(5)	(2) — UW:i_uStart_IO_No	o_bOK:B	(6)	(3) — UW:i_uStation_No	o_uOutputONTotat:UW	(7)	(4) — UW:i_uCH_No	o_bErr:B	(8)		o_uErrId:UW	(9)
(1) — B:i_bEN	o_bENO:B	(5)														
(2) — UW:i_uStart_IO_No	o_bOK:B	(6)														
(3) — UW:i_uStation_No	o_uOutputONTotat:UW	(7)														
(4) — UW:i_uCH_No	o_bErr:B	(8)														
	o_uErrId:UW	(9)														

使用ラベル

■入力引数

No.	変数名	名称	データ型	有効範囲	内容
(1)	i_bEN	実行指令	ビット	ON, OFF	ON: ユニットFB を起動する。 OFF: ユニットFB を起動しない。
(2)	i_uStart_IO_No	ユニット装着XYアドレス	ワード[符号なし]	CPUユニットの入出力点数に依存	CC-Link IEフィールドネットワークマスタ・ローカルユニットが装着されている先頭入出力番号を指定します。
(3)	i_uStation_No	局番	ワード[符号なし]	1~120	対象のIO-Linkユニットの局番を指定します。
(4)	i_uCH_No	自局使用チャンネル	ワード[符号なし]	1~32	自局から他局へアクセスするためのチャンネルを指定します。

■出力引数

No.	変数名	名称	データ型	内容	デフォルト値
(5)	o_bENO	実行状態	ビット	ユニットFBの実行状態を出力します。 ON: 実行している。 OFF: 実行していない。	OFF
(6)	o_bOK	正常完了	ビット	ONの場合、ユニットFBの処理が正常完了したことを示します。	OFF
(7)	o_uOutputONTotat	出力ON回数積算値	ワード[符号なし]	出力ON回数積算値を格納する先頭デバイスを指定します。	0
(8)	o_bErr	異常完了	ビット	ONの場合、ユニットFBの処理が異常完了したことを示します。	OFF
(9)	o_uErrId	エラーコード	ワード[符号なし]	異常完了時にエラーコードが格納されます。	0

機能内容

項目	内容	
対象機器	対象ユニット	NZ2GF2S-60IOLD8
	対象ネットワークユニット	<ul style="list-style-type: none"> • RJ71EN71 • RJ71GF11-T2 • RnENCPU(ネットワーク部)
	対象CPU	RCPU
	対象エンジニアリングツール	GX Works3
使用言語	ラダー	
基本ステップ数	325ステップ プログラムに組み込んだFBのステップ数は、使用するCPUユニット、入出力の定義やGX Works3のオプション設定によって異なります。GX Works3のオプション設定については、GX Works3 オペレーティングマニュアルを参照してください。	
機能説明	i_bEN(実行指令)のONで、IO-Linkユニットの出力ON回数積算値を読み出します。読み出した出力ON回数積算値はo_uOutputONTotat(出力ON回数積算値)に設定したデバイスを先頭に16ワード分のデータが格納されます	
FBコンパイル方式	マクロ型	
FB動作	随時実行型	
FB_ENの入力条件	なし	
入出力信号の動き	<div> <ul style="list-style-type: none"> • 正常完了の場合  </div> <div> <ul style="list-style-type: none"> • 異常完了の場合  </div> <div> (1)未処理 (2)処理 (3)未更新 (4)更新 (5)エラーコード (a)1スキャンのみONします。 (b)読み出し処理が完了ごとに読み出しデータを更新します。 </div>	
注意事項	<ul style="list-style-type: none"> • 出力ON回数積算値読み出し処理中にi_bEN(実行指令)をOFFした場合、前回の読み出し処理を行った値が格納されたままとなります。 • 異常が発生した場合は、o_bErr(異常完了)がONし、ユニットFBの処理を中断します。また、o_uErrId(エラーコード)にはエラーコードが格納されます。 • 本ユニットFBは、REMFR命令を使用しています。本ユニットFBを含め他のユニットFBと同時に動作させる場合やプログラムにてREMFR/REMT0命令を使用する場合は自局使用チャンネルが重複しないようにしてください。 • 本ユニットFBは、i_bEN(実行指令)のONからo_bOK(正常完了)がONするまで数スキャン必要です。 	

エラーコード

エラーコード	内容	処置方法
0100H	局番が1~120以外の値に設定されている。	設定を見直した後、再度ユニットFBを実行してください。
0101H	自局使用チャンネル設定範囲外。自局使用チャンネルが1~32以外に設定されている。	設定を見直した後、再度ユニットFBを実行してください。
D000H~DAF9H	CC-Link IEフィールドネットワークに異常が発生した。	エラーコードを下記マニュアルより参照してください。 MELSEC iQ-R CC-Link IEフィールドネットワークユーザーズマニュアル(応用編)

2.4 M+NZ2GF2S-60IOLD8_OutputOnCntClr

名称

M+NZ2GF2S-60IOLD8_OutputOnCntClr

2

概要

項目	内容
機能概要	IO-Linkユニットの出力ON回数積算値をクリアします。
シンボル	<div><div>M+NZ2GF2S-60IOLD8_OutputOnCntClr</div><div><div><div>(1) — B:i_bEN</div><div>o_bENO:B</div><div>(6)</div></div><div><div>(2) — UW:i_uStart_IO_No</div><div>o_bOK:B</div><div>(7)</div></div><div><div>(3) — UW:i_uStation_No</div><div>o_bErr:B</div><div>(8)</div></div><div><div>(4) — UW:i_uCH_No</div><div>o_uErrId:UW</div><div>(9)</div></div><div><div>(5) — UW:i_uOutputClrSct</div></div></div></div>

使用ラベル

■入力引数


No.	変数名	名称	データ型	有効範囲	内容
(1)	i_bEN	実行指令	ビット	ON, OFF	ON: ユニットFBを起動する。 OFF: ユニットFBを起動しない。
(2)	i_uStart_IO_No	ユニット装着XYアドレス	ワード[符号なし]	CPUユニットの入出力点数に依存	CC-Link IEフィールドネットワークマスタ・ローカルユニットが装着されている先頭入出力番号を指定します。
(3)	i_uStation_No	局番	ワード[符号なし]	1~120	対象のIO-Linkユニットの局番を指定します。
(4)	i_uCH_No	自局使用チャンネル	ワード[符号なし]	1~32	自局から他局へアクセスするためのチャンネルを指定します。
(5)	i_uOutputClrSct	出力ON回数積算値クリア選択	ワード[符号なし]	IO-Linkユニット • b00: CH1 • b01: CH2 • b02: CH3 • b03: CH4 • b04: CH5 • b05: CH6 • b06: CH7 • b07: CH8	出力ON回数積算値をクリアする設定範囲を選択します。(例: CH1, CH3, CH6をクリアしたい場合は, 0025Hを設定してください。)

■出力引数

No.	変数名	名称	データ型	内容	デフォルト値
(6)	o_bENO	実行状態	ビット	ユニットFBの実行状態を出力します。 ON: 実行している。 OFF: 実行していない。	OFF
(7)	o_bOK	正常完了	ビット	ONの場合, ユニットFBの処理が正常完了したことを示します。	OFF
(8)	o_bErr	異常完了	ビット	ONの場合, ユニットFBの処理が異常完了したことを示します。	OFF
(9)	o_uErrId	エラーコード	ワード[符号なし]	異常完了時にエラーコードが格納されます。	0

機能内容		
項目	内容	
対象機器	対象ユニット	NZ2GF2S-60IOLD8
	対象ネットワークユニット	<ul style="list-style-type: none"> • RJ71EN71 • RJ71GF11-T2 • RnENCPU(ネットワーク部)
	対象CPU	RCPU
	対象エンジニアリングツール	GX Works3
使用言語	ラダー	
基本ステップ数	569ステップ プログラムに組み込んだFBのステップ数は、使用するCPUユニット、入出力の定義やGX Works3のオプション設定によって異なります。GX Works3のオプション設定については、GX Works3 オペレーティングマニュアルを参照してください。	
機能説明	<ul style="list-style-type: none"> • i_bEN(実行指令)のONで、i_uOutputClrSlt(出力ON回数積算値クリア選択)にて選択した出力ON回数積算値のクリアを行います。 • 本ユニットFBはi_bEN(実行指令)のONで1ショットのみ動作します。 	
FBコンパイル方式	マクロ型	
FB動作	パルス実行型(複数スキャン実行型)	
FB_ENの入力条件	なし	
入出力信号の動き	<div> <div> <ul style="list-style-type: none"> • 正常完了の場合 </div> <div> </div> </div> <div> <div> <ul style="list-style-type: none"> • 異常完了の場合 </div> <div> </div> </div> <div> (1)未処理 (2)処理 (3)エラーコード </div>	
注意事項	<ul style="list-style-type: none"> • 異常が発生した場合は、o_bErr(異常完了)がONし、ユニットFBの処理を中断します。また、o_uErrId(エラーコード)にはエラーコードが格納されます。 • 本ユニットFBは、REMFR/REMTO 命令を使用しています。本ユニットFBを含め他のユニットFBと同時に動作させる場合やプログラムにてREMFR/REMTO命令を使用する場合は自局使用チャンネルが重複しないようにしてください。 • 本FBはi_bEN(実行指令)のONからo_bOK(正常完了)がONするまで数スキャンが必要です。 	

エラーコード

エラーコード	内容	処置方法
0100H	局番が1~120以外の値に設定されている。	設定を見直した後、再度ユニットFBを実行してください。
0101H	自局使用チャンネル設定範囲外。自局使用チャンネルが1~32 以外に設定されている。	設定を見直した後、再度ユニットFBを実行してください。
0200H	既に要求フラグまたは指令フラグがONにされているため、ユニットFBが実行でない。	該当する要求フラグまたは指令フラグをOFFにしてください。その後、再度ユニットFBを実行してください。
D000H~DAF9H	CC-Link IEフィールドネットワークに異常が発生した。	エラーコードを下記マニュアルより参照してください。  MELSEC iQ-R CC-Link IEフィールドネットワークユーザーズマニュアル(応用編)

2.5 M+NZ2GF2S-60IOLD8_UnitParamRd

名称

M+NZ2GF2S-60IOLD8_UnitParamRd

概要

項目	内容
機能概要	IO-Linkユニットのパラメータを読み出します。
シンボル	<div><div>M+NZ2GF2S-60IOLD8_UnitParamRd</div><div><div>(1) — B:i_bEN</div><div>(2) — UW:i_uStart_IO_No</div><div>(3) — UW:i_uStation_No</div><div>(4) — UW:i_uCH_No</div></div><div><div>o_bENO:B</div><div>o_bOK:B</div><div>o_uReadData:UW</div><div>o_bErr:B</div><div>o_uErrId:UW</div></div><div><div>(5)</div><div>(6)</div><div>(7)</div><div>(8)</div><div>(9)</div></div></div>

使用ラベル

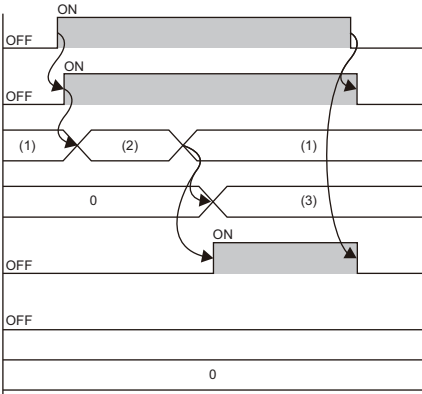
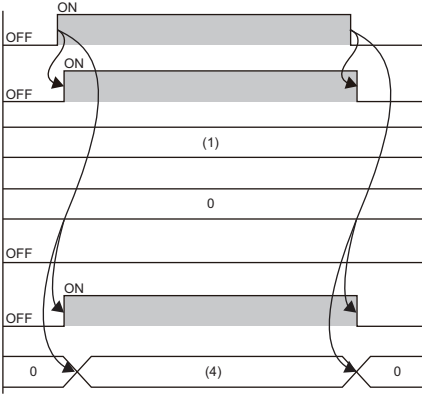
■入力引数

No.	変数名	名称	データ型	有効範囲	内容
(1)	i_bEN	実行指令	ビット	ON, OFF	ON: ユニットFBを起動する。 OFF: ユニットFBを起動しない。
(2)	i_uStart_IO_No	ユニット装着XYアドレス	ワード[符号なし]	CPUユニットの入出力点数に依存	CC-Link IEフィールドネットワークマスタ・ローカルユニットが装着されている先頭入出力番号を指定します。
(3)	i_uStation_No	局番	ワード[符号なし]	1~120	対象のIO-Linkユニットの局番を指定します。
(4)	i_uCH_No	自局使用チャンネル	ワード[符号なし]	1~32	自局から他局へアクセスするためのチャンネルを指定します。

■出力引数

No.	変数名	名称	データ型	内容	デフォルト値
(5)	o_bENO	実行状態	ビット	ユニットFBの実行状態を出力します。 ON: 実行している。 OFF: 実行していない。	OFF
(6)	o_bOK	正常完了	ビット	ONの場合、ユニットFBの処理が正常完了したことを示します。	OFF
(7)	o_uReadData	読出しデータ	ワード[符号なし]	読み出したパラメータの値を格納する先頭デバイスを指定します。パラメータデータ構造は、下記を参照してください。 □□CC-Link IEフィールドネットワークリモートIO-Linkユニットユーザズマニュアル	0
(8)	o_bErr	異常完了	ビット	ONの場合、ユニットFBの処理が異常完了したことを示します。	OFF
(9)	o_uErrId	エラーコード	ワード[符号なし]	異常完了時にエラーコードが格納されます。	0

機能内容

項目	内容	
対象機器	対象ユニット	NZ2GF2S-60IOLD8
	対象ネットワークユニット	<ul style="list-style-type: none"> • RJ71EN71 • RJ71GF11-T2 • RnENCPU(ネットワーク部)
	対象CPU	RCPU
	対象エンジニアリングツール	GX Works3
使用言語	ラダー	
基本ステップ数	684ステップ プログラムに組み込んだFBのステップ数は、使用するCPUユニット、入出力の定義やGX Works3のオプション設定によって異なります。GX Works3のオプション設定については、GX Works3 オペレーティングマニュアルを参照してください。	
機能説明	<ul style="list-style-type: none"> • i_bEN(実行指令)のONで、IO-Linkユニットのパラメータを読み出し、o_uReadData(読み出しデータ)に格納します。 • 本ユニットFBはi_bEN(実行指令)のON後、数スキャンで完了します。 	
FBコンパイル方式	マクロ型	
FB動作	パルス実行型(複数スキャン実行型)	
FB_ENの入力条件	なし	
入出力信号の動き	<ul style="list-style-type: none"> • 正常完了の場合  <ul style="list-style-type: none"> • 異常完了の場合  <p>(1)未処理 (2)処理 (3)パラメータ (4)エラーコード</p>	
注意事項	<ul style="list-style-type: none"> • 異常が発生した場合は、o_bErr(異常完了)がONし、ユニットFBの処理を中断します。また、o_uErrId(エラーコード)にはエラーコードが格納されます。 • 本ユニットFBは、REMF命令を使用しています。本ユニットFBを含め他のユニットFBと同時に動作させる場合やプログラムにてREMF/REMT命令を使用する場合は自局使用チャンネルが重複しないようにしてください。 • 本ユニットFBはi_bEN(実行指令)のONからo_bOK(正常完了)がONするまで数スキャン必要です。 • 読み出したパラメータの値を格納する先頭デバイスはパラメータサイズ分の連続エリアが必要です。パラメータデータ構造は、下記を参照してください。 <p>☐ CC-Link IEフィールドネットワークリモートIO-Linkユニットユーザーズマニュアル</p> <ul style="list-style-type: none"> • 本ユニットFBではリモートバッファメモリのパラメータエリアの値を読み出すため、実際の動作パラメータとは異なる場合があります。 	

エラーコード

エラーコード	内容	処置方法
0100H	局番が1~120以外の値に設定されている。	設定を見直した後、再度ユニットFBを実行してください。
0101H	自局使用チャンネル設定範囲外。自局使用チャンネルが1~32以外に設定されている。	設定を見直した後、再度ユニットFBを実行してください。
D000H~DAF9H	CC-Link IEフィールドネットワークに異常が発生した。	エラーコードを下記マニュアルより参照してください。 MELSEC iQ-R CC-Link IEフィールドネットワークユーザーズマニュアル(応用編)

2.6 M+NZ2GF2S-60IOLD8_UnitParamWt

名称

M+NZ2GF2S-60IOLD8_UnitParamWt

2

概要

項目	内容
機能概要	IO-Linkユニットのパラメータを書き込みます。
シンボル	<div><div>M+NZ2GF2S-60IOLD8_UnitParamWt</div><div><div>(1) — B:i_bEN</div><div>(2) — UW:i_uStart_IO_No</div><div>(3) — UW:i_uStation_No</div><div>(4) — UW:i_uCH_No</div><div>(5) — UW:i_uWriteData</div></div><div><div>o_bENO:B</div><div>o_bOK:B</div><div>o_bErr:B</div><div>o_uErrId:UW</div></div><div><div>(6)</div><div>(7)</div><div>(8)</div><div>(9)</div></div></div>

使用ラベル

■入力引数

No.	変数名	名称	データ型	有効範囲	内容
(1)	i_bEN	実行指令	ビット	ON, OFF	ON: ユニットFBを起動する。 OFF: ユニットFBを起動しない。
(2)	i_uStart_IO_No	ユニット装着XYアドレス	ワード[符号なし]	CPUユニットの入出力点数に依存	CC-Link IEフィールドネットワークマスタ・ローカルユニットが装着されている先頭入出力番号を指定します。
(3)	i_uStation_No	局番	ワード[符号なし]	1~120	対象のIO-Linkユニットの局番を指定します。
(4)	i_uCH_No	自局使用チャンネル	ワード[符号なし]	1~32	自局から他局へアクセスするためのチャンネルを指定します。
(5)	i_uWriteData	書き込みデータ	ワード[符号なし]	—	書き込むパラメータデータの先頭デバイスを指定します。パラメータデータ構造は、下記を参照してください。 □□CC-Link IEフィールドネットワークリモートIO-Linkユニット ユーザーズマニュアル

■出力引数


No.	変数名	名称	データ型	内容	デフォルト値
(6)	o_bENO	実行状態	ビット	ユニットFBの実行状態を出力します。 ON: 実行している。 OFF: 実行していない。	OFF
(7)	o_bOK	正常完了	ビット	ONの場合、ユニットFBの処理が正常完了したことを示します。	OFF
(8)	o_bErr	異常完了	ビット	ONの場合、ユニットFBの処理が異常完了したことを示します。	OFF
(9)	o_uErrId	エラーコード	ワード[符号なし]	異常完了時にエラーコードが格納されます。	0

機能内容

項目	内容	
対象機器	対象ユニット	NZ2GF2S-60IOLD8
	対象ネットワークユニット	<ul style="list-style-type: none"> • RJ71EN71 • RJ71GF11-T2 • RnENCPU(ネットワーク部)
	対象CPU	RCPU
	対象エンジニアリングツール	GX Works3
使用言語	ラダー	
基本ステップ数	1128ステップ プログラムに組み込んだFBのステップ数は、使用するCPUユニット、入出力の定義やGX Works3のオプション設定によって異なります。 GX Works3のオプション設定については、GX Works3 オペレーティングマニュアルを参照してください。	
機能説明	<ul style="list-style-type: none"> • i_bEN(実行指令)のONで、IO-Linkユニットのパラメータを書き込みます。 • 本ユニットFBはi_bEN(実行指令)のON後、数スキャンで完了します。 	
FBコンパイル方式	マクロ型	
FB動作	パルス実行型(複数スキャン実行型)	
FB_ENの入力条件	なし	
入出力信号の動き	<ul style="list-style-type: none"> • 正常完了の場合 <div> <div> <div>i_bEN</div> <div>o_bENO</div> <div>パラメータ書き込み処理</div> <div>パラメータ</div> <div>動作条件設定要求フラグ</div> <div>動作条件設定完了フラグ</div> <div>o_bOK</div> <div>o_bErr</div> <div>o_uErrId</div> </div> </div> <ul style="list-style-type: none"> • 異常完了の場合 <div> <div> <div>i_bEN</div> <div>o_bENO</div> <div>パラメータ書き込み処理</div> <div>パラメータ</div> <div>動作条件設定要求フラグ</div> <div>動作条件設定完了フラグ</div> <div>o_bOK</div> <div>o_bErr</div> <div>o_uErrId</div> </div> </div> <div> <div>(1)未処理</div> <div>(2)処理</div> <div>(3)未更新</div> <div>(4)更新</div> <div>(5)エラーコード</div> </div>	

項目	内容
注意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・異常が発生した場合は、o_bErr(異常完了)がONし、ユニットFBの処理を中断します。また、o_uErrId(エラーコード)にはエラーコードが格納されます。 ・本ユニットFBは、REMFR/REMTO命令を使用しています。本ユニットFBを含め他のユニットFBと同時に動作させる場合やプログラムにてREMFR/REMTO命令を使用する場合は自局使用チャンネルが重複しないようにしてください。 ・本ユニットFBはi_bEN(実行指令)のONからo_bOK(正常完了)がONするまで数スキャンが必要です。 ・本ユニットFB実行中に電源OFF、リモートリセットを行わないでください。

エラーコード

エラーコード	内容	処置方法
0100H	局番が1~120以外の値に設定されている。	設定を見直した後、再度ユニットFBを実行してください。
0101H	自局使用チャンネル設定範囲外。自局使用チャンネルが1~32以外に設定されている。	設定を見直した後、再度ユニットFBを実行してください。
0200H	既に要求フラグまたは指令フラグがONにされているため、ユニットFBが実行できない。	該当する要求フラグまたは指令フラグをOFFにしてください。その後、再度ユニットFBを実行してください。
D000H~DAF9H	CC-Link IEフィールドネットワークに異常が発生した。	エラーコードを下記マニュアルより参照してください。  MELSEC iQ-R CC-Link IEフィールドネットワークユーザーズマニュアル(応用編)

2.7 M+NZ2GF2S-60IOLD8_DeviceParamRd

名称

M+NZ2GF2S-60IOLD8_DeviceParamRd

概要

項目	内容																								
機能概要	指定したパラメータをIO-Linkデバイスから読み出します。																								
シンボル	<div><div>M+NZ2GF2S-60IOLD8_DeviceParamRd</div><table><tr><td>(1) — B:i_bEN</td><td>o_bENO:B</td><td>(9)</td></tr><tr><td>(2) — UW:i_uStart_IO_No</td><td>o_bOK:B</td><td>(10)</td></tr><tr><td>(3) — UW:i_uStation_No</td><td>o_uReadSize:UW</td><td>(11)</td></tr><tr><td>(4) — UW:i_uCH_No</td><td>o_uReadData:UW</td><td>(12)</td></tr><tr><td>(5) — UW:i_uTarget_CH</td><td>o_bErr:B</td><td>(13)</td></tr><tr><td>(6) — UW:i_uIndex</td><td>o_uErrId:UW</td><td>(14)</td></tr><tr><td>(7) — UW:i_uSubIndex</td><td>o_uResult:UW</td><td>(15)</td></tr><tr><td>(8) — UW:i_uReadSize</td><td></td><td></td></tr></table></div>	(1) — B:i_bEN	o_bENO:B	(9)	(2) — UW:i_uStart_IO_No	o_bOK:B	(10)	(3) — UW:i_uStation_No	o_uReadSize:UW	(11)	(4) — UW:i_uCH_No	o_uReadData:UW	(12)	(5) — UW:i_uTarget_CH	o_bErr:B	(13)	(6) — UW:i_uIndex	o_uErrId:UW	(14)	(7) — UW:i_uSubIndex	o_uResult:UW	(15)	(8) — UW:i_uReadSize		
(1) — B:i_bEN	o_bENO:B	(9)																							
(2) — UW:i_uStart_IO_No	o_bOK:B	(10)																							
(3) — UW:i_uStation_No	o_uReadSize:UW	(11)																							
(4) — UW:i_uCH_No	o_uReadData:UW	(12)																							
(5) — UW:i_uTarget_CH	o_bErr:B	(13)																							
(6) — UW:i_uIndex	o_uErrId:UW	(14)																							
(7) — UW:i_uSubIndex	o_uResult:UW	(15)																							
(8) — UW:i_uReadSize																									

使用ラベル


■入力引数

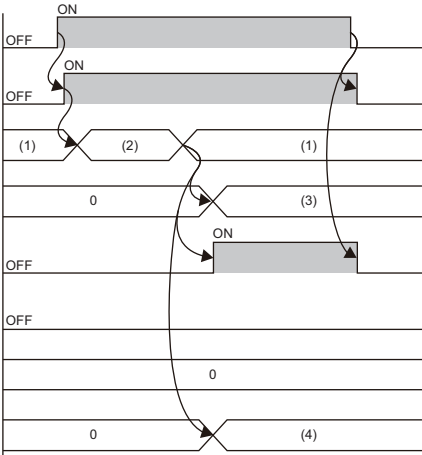
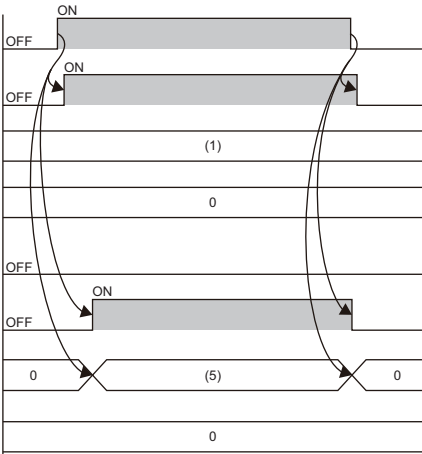
No.	変数名	名称	データ型	有効範囲	内容
(1)	i_bEN	実行指令	ビット	ON, OFF	ON: ユニットFBを起動する。 OFF: ユニットFBを起動しない。
(2)	i_uStart_IO_No	ユニット装着XYアドレス	ワード[符号なし]	CPUユニットの入出力点数に依存	CC-Link IEフィールドネットワークマスタ・ローカルユニットが装着されている先頭入出力番号を指定します。
(3)	i_uStation_No	局番	ワード[符号なし]	1~120	対象のIO-Linkユニットの局番を指定します。
(4)	i_uCH_No	自局使用チャンネル	ワード[符号なし]	1~32	自局から他局へアクセスするためのチャンネルを指定します。
(5)	i_uTarget_CH	IO-Linkユニットのチャンネル	ワード[符号なし]	1~8	対象となるIO-Linkデバイスが接続されているIO-Linkユニットのチャンネルを指定します。
(6)	i_uIndex	インデックス	ワード[符号なし]	0~2, 4~65535	読み出すパラメータのインデックスを指定します。
(7)	i_uSubIndex	サブインデックス	ワード[符号なし]	0~255	読み出すパラメータのサブインデックスを指定します。
(8)	i_uReadSize	読み出しデータサイズ	ワード[符号なし]	0~256	読み出すパラメータのデータサイズを指定します。

■出力引数


No.	変数名	名称	データ型	内容	デフォルト値
(9)	o_bENO	実行状態	ビット	ユニットFBの実行状態を出力します。 ON: 実行している。 OFF: 実行していない。	OFF
(10)	o_bOK	正常完了	ビット	ONの場合、ユニットFBの処理が正常完了したことを示します。	OFF
(11)	o_uReadSize	読出しデータサイズ	ワード[符号なし]	読み出したパラメータデータのサイズをバイト単位で格納します。	0
(12)	o_uReadData	読出しデータ	ワード[符号なし]	読み出したパラメータの値を格納する先頭デバイスを指定します。	0
(13)	o_bErr	異常完了	ビット	ONの場合、ユニットFBの処理が異常完了したことを示します。	OFF
(14)	o_uErrId	エラーコード	ワード[符号なし]	異常完了時にエラーコードが格納されます。	0
(15)	o_uResult	実行結果	ワード[符号なし]	IO-Linkデバイスとの通信実行結果が格納されます。	0

機能内容

項目	内容
対象機器	対象ユニット
	NZ2GF2S-60IOLD8
	対象ネットワークユニット
	<ul style="list-style-type: none"> • RJ71EN71 • RJ71GF11-T2 • RnENCPU(ネットワーク部)
対象CPU	RCPU
	対象エンジニアリングツール
	GX Works3
使用言語	ラダー
基本ステップ数	849ステップ プログラムに組み込んだFBのステップ数は、使用するCPUユニット、入出力の定義やGX Works3のオプション設定によって異なります。GX Works3のオプション設定については、GX Works3 オペレーティングマニュアルを参照してください。
機能説明	i_bEN(実行指令)のONにて、i_uTarget_CH(IO-Linkユニットのチャンネル)で指定されたIO-Linkユニットのチャンネルに接続されたIO-Linkデバイスからi_uIndex(インデックス)、i_uSubIndex(サブインデックス)で指定されたパラメータの読出しを実行し、i_uReadSize(読出しデータサイズ)分のデータをo_uReadData(読出しデータ)に格納します。i_uSubIndex(サブインデックス)で0を指定した場合は、i_uIndex(インデックス)の全データを読み出します。0以外を指定した場合は、サブインデックスに応じたパラメータを読み出します。また、o_uReadSize(読出しデータサイズ)に読み出したデータの実サイズを格納します。o_uResult(実行結果)に実行結果を格納します。 ( 25ページ 実行結果)
FBコンパイル方式	マクロ型
FB動作	パルス実行型(複数スキャン実行型)
FB_ENの入力条件	なし

項目	内容
入出力信号の動き	<div> <ul style="list-style-type: none"> 正常完了の場合  </div> <div> <ul style="list-style-type: none"> 異常完了の場合  </div> <div> <p>(1)未処理 (2)処理 (3)データ (4)更新 (5)エラーコード</p> </div>
注意事項	<ul style="list-style-type: none"> 異常が発生した場合は、o_bErr(異常完了)がONし、ユニットFBの処理を中断します。また、o_uErrId(エラーコード)にはエラーコードが格納されます。 本ユニットFBは、REMFR/REMTO命令を使用しています。本ユニットFBを含め他のユニットFBと同時に動作させる場合やプログラムにてREMFR/REMTO命令を使用する場合は自局使用チャンネルが重複しないようにしてください。 本ユニットFBはi_bEN(実行指令)のONからo_bOK(正常完了)がONするまで数スキャン必要です。 読み出したパラメータの値を格納する先頭デバイスはパラメータサイズ分の連続エリアが必要です。(最大232バイト) 読出しデータサイズが奇数バイトの場合、読出しデータの上位1バイトは0が格納されます。 IO-Linkデバイスパラメータ読出し/書込みのユニットFBを正常完了または異常完了するまで、同時に実行しないでください。

エラーコード

エラーコード	内容	処置方法
0100H	局番が1~120以外の値に設定されている。	設定を見直した後、再度ユニットFBを実行してください。
0101H	自局使用チャンネル設定範囲外。自局使用チャンネルが1~32以外に設定されている。	設定を見直した後、再度ユニットFBを実行してください。
0102H	IO-Linkユニットのチャンネル設定範囲外。IO-Linkユニットのチャンネルが1~8以外に設定されている。	設定を見直した後、再度ユニットFBを実行してください。
0201H	対象のIO-Linkユニットに対してユニットFBが既に実行されている。	実行中のIO-Linkデバイス/パラメータ読み出し/書き込みのユニットFBが完了後、再度ユニットFBを実行してください。
D000H~DAF9H	CC-Link IEフィールドネットワークに異常が発生した。	エラーコードを下記マニュアルより参照してください。  MELSEC iQ-R CC-Link IEフィールドネットワークユーザーズマニュアル(応用編)

実行結果

実行結果	内容	処置方法
0000H	正常に実行しました。	処置なし。
0001H	読み出し可能なデータがありません。	下記の設定内容を見直した後、再度ユニットFBを実行してください。 ・インデックス ・サブインデックス
1000H, 1100H, 5600H	通信に失敗しました。	IO-Linkデバイスとの接続を確認してください。
5700H, 8023H, 8035H	機能未対応のIO-Linkデバイスです。	使用しているIO-Linkデバイスのマニュアルを参照してください。
8011H	インデックス設定範囲外です。	設定を見直した後、再度ユニットFBを実行してください。
8012H	サブインデックス設定範囲外です。	設定を見直した後、再度ユニットFBを実行してください。
8020H~8022H, 8036H, 8082H	一時的にサービスが使用できません。	時間を置いて、再度ユニットFBを実行してください。
8040H~8041H	不正なパラメータ設定です。	使用しているIO-Linkデバイスのマニュアルを参照してください。
8100H~81FFH	使用しているIO-Linkデバイス特有のエラーが発生しました。	使用しているIO-Linkデバイスのマニュアルを参照してください。

2.8 M+NZ2GF2S-60IOLD8_DeviceParamWt

名称

M+NZ2GF2S-60IOLD8_DeviceParamWt

概要

項目	内容
機能概要	指定したパラメータをIO-Linkデバイスに書き込みます。
シンボル	<div><div>M+NZ2GF2S-60IOLD8_DeviceParamWt</div><div><div>(1) — B:i_bEN</div><div>(2) — UW:i_uStart_IO_No</div><div>(3) — UW:i_uStation_No</div><div>(4) — UW:i_uCH_No</div><div>(5) — UW:i_uTarget_CH</div><div>(6) — UW:i_uIndex</div><div>(7) — UW:i_uSubIndex</div><div>(8) — UW:i_uWriteSize</div><div>(9) — UW:i_uWriteData</div></div><div><div>o_bENO:B — (10)</div><div>o_bOK:B — (11)</div><div>o_bErr:B — (12)</div><div>o_uErrId:UW — (13)</div><div>o_uResult:UW — (14)</div></div></div>

使用ラベル

■入力引数

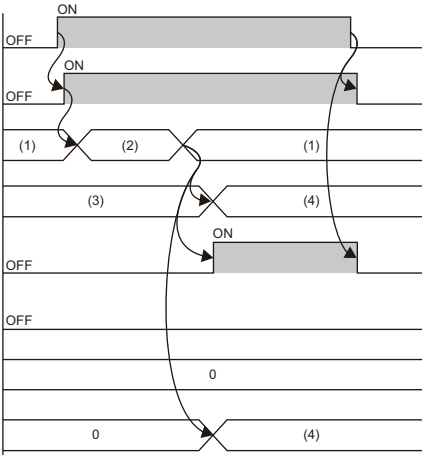
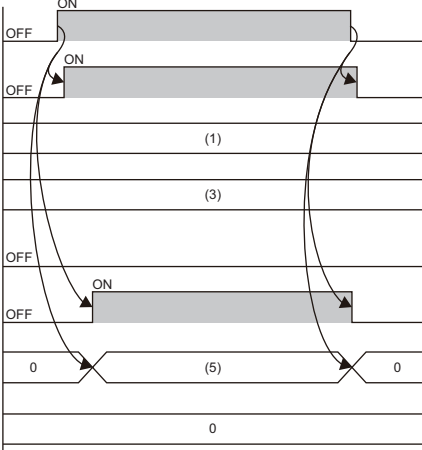
No.	変数名	名称	データ型	有効範囲	内容
(1)	i_bEN	実行指令	ビット	ON, OFF	ON: ユニットFBを起動する。 OFF: ユニットFBを起動しない。
(2)	i_uStart_IO_No	ユニット装着XYアドレス	ワード[符号なし]	CPUユニットの入出力点数に依存	CC-Link IEフィールドネットワークマスタ・ローカルユニットが装着されている先頭入出力番号を指定します。
(3)	i_uStation_No	局番	ワード[符号なし]	1~120	対象のIO-Linkユニットの局番を指定します。
(4)	i_uCH_No	自局使用チャンネル	ワード[符号なし]	1~32	自局から他局へアクセスするためのチャンネルを指定します。
(5)	i_uTarget_CH	IO-Linkユニットのチャンネル	ワード[符号なし]	1~8	対象となるIO-Linkデバイスが接続されているIO-Linkユニットのチャンネルを指定します。
(6)	i_uIndex	インデックス	ワード[符号なし]	2, 4~65535	書き込むパラメータのインデックスを指定します。
(7)	i_uSubIndex	サブインデックス	ワード[符号なし]	0~255	書き込むパラメータのサブインデックスを指定します。
(8)	i_uWriteSize	書き込みデータサイズ	ワード[符号なし]	1~232	書き込むデータサイズをバイト単位で指定します。
(9)	i_uWriteData	書き込みデータ	ワード[符号なし]	—	書き込むデータの先頭デバイスを指定します。

■出力引数


No.	変数名	名称	データ型	内容	デフォルト値
(10)	o_bENO	実行状態	ビット	ユニットFBの実行状態を出力します。 ON: 実行している。 OFF: 実行していない。	OFF
(11)	o_bOK	正常完了	ビット	ONの場合、ユニットFBの処理が正常完了したことを示します。	OFF
(12)	o_bErr	異常完了	ビット	ONの場合、ユニットFBの処理が異常完了したことを示します。	OFF
(13)	o_uErrId	エラーコード	ワード[符号なし]	異常完了時にエラーコードが格納されます。	0
(14)	o_uResult	実行結果	ワード[符号なし]	IO-Linkデバイスとの通信実行結果が格納されます。	0

機能内容

項目	内容
対象機器	対象ユニット
	NZ2GF25-60IOLD8
	対象ネットワークユニット
	<ul style="list-style-type: none"> • RJ71EN71 • RJ71GF11-T2 • RnENCPU(ネットワーク部)
	対象CPU
	RCPU
	対象エンジニアリングツール
	GX Works3
使用言語	ラダー
基本ステップ数	808ステップ プログラムに組み込んだFBのステップ数は、使用するCPUユニット、入出力の定義やGX Works3のオプション設定によって異なります。GX Works3のオプション設定については、GX Works3 オペレーティングマニュアルを参照してください。
機能説明	i_bEN(実行指令)のONにて、i_uTarget_CH(IO-Linkユニットのチャンネル)で指定されたIO-Linkユニットのチャンネルに接続されたIO-Linkデバイスのi_uIndex(インデックス)、i_uSubIndex(サブインデックス)で指定されたパラメータにi_uWriteSize(書き込みデータサイズ)、i_uWriteData(書き込みデータ)で指定したデータを書き込みます。i_uSubIndex(サブインデックス)で0を指定した場合は、i_uIndex(インデックス)の全データに書き込みます。0以外を指定した場合は、サブインデックスに応じたパラメータにのみ書き込みます。 o_uResult(実行結果)に実行結果を格納します。(29ページ 実行結果)
FBコンパイル方式	マクロ型
FB動作	パルス実行型(複数スキャン実行型)
FB_ENの入力条件	なし

項目	内容
入出力信号の動き	<div> <ul style="list-style-type: none"> 正常完了の場合  </div> <div> <ul style="list-style-type: none"> 異常完了の場合  </div> <div> <p>(1)未処理 (2)処理 (3)未更新 (4)更新 (5)エラーコード</p> </div>
注意事項	<ul style="list-style-type: none"> 異常が発生した場合は、o_bErr(異常完了)がONし、ユニットFBの処理を中断します。また、o_uErrId(エラーコード)にはエラーコードが格納されます。 本ユニットFBは、REMFR/REMTO命令を使用しています。本ユニットFBを含め他のユニットFBと同時に動作させる場合やプログラムにてREMFR/REMTO命令を使用する場合は自局使用チャンネルが重複しないようにしてください。 本ユニットFBはi_bEN(実行指令)のONからo_bOK(正常完了)がONするまで数スキャン必要です。 本ユニットFB実行中に電源OFF、リモートリセットを行わないでください。 IO-Linkデバイス/パラメータ読出し/書込みのユニットFBを正常完了または異常完了するまで、同時に実行しないでください。

エラーコード

エラーコード	内容	処置方法
0100H	局番が1~120以外の値に設定されている。	設定を見直した後、再度ユニットFBを実行してください。
0101H	自局使用チャンネル設定範囲外。自局使用チャンネルが1~32以外に設定されている。	設定を見直した後、再度ユニットFBを実行してください。
0102H	IO-Linkユニットのチャンネル設定範囲外。IO-Linkユニットのチャンネルが1~8以外に設定されている。	設定を見直した後、再度ユニットFBを実行してください。
0201H	対象のIO-Linkユニットに対してユニットFBが既に実行されている。	実行中のIO-Linkデバイス/パラメータ読み出し/書き込みのユニットFBが完了後、再度ユニットFBを実行してください。
D000H~DAF9H	CC-Link IEフィールドネットワークに異常が発生した。	エラーコードを下記マニュアルより参照してください。  MELSEC iQ-R CC-Link IEフィールドネットワークユーザーズマニュアル(応用編)

実行結果

実行結果	内容	処置方法
0000H	正常に実行しました。	処置なし。
1000H, 1100H, 5600H	通信に失敗しました。	IO-Linkデバイスとの接続を確認してください。
5700H, 8023H, 8035H	機能未対応のIO-Linkデバイスです。	使用しているIO-Linkデバイスのマニュアルを参照してください。
8011H	インデックス設定範囲外です。	設定を見直した後、再度ユニットFBを実行してください。
8012H	サブインデックス設定範囲外です。	設定を見直した後、再度ユニットFBを実行してください。
8020H~8022H, 8036H, 8082H	一時的にサービスが使用できません。	時間を置いて、再度ユニットFBを実行してください。
8030H	書き込みデータが範囲外です。	使用しているIO-Linkデバイスのマニュアルを参照してください。
8031H	書き込みデータが上限値を超えています。	使用しているIO-Linkデバイスのマニュアルを参照してください。
8032H	書き込みデータが下限値を超えています。	使用しているIO-Linkデバイスのマニュアルを参照してください。
8033H~8034H	書き込みデータサイズが範囲外です。	使用しているIO-Linkデバイスのマニュアルを参照してください。
8040H~8041H	不正なパラメータ設定です。	使用しているIO-Linkデバイスのマニュアルを参照してください。
8100H~81FFH	使用しているIO-Linkデバイス特有のエラーが発生しました。	使用しているIO-Linkデバイスのマニュアルを参照してください。

2.9 M+NZ2GF2S-60IOLD8_DeviceChg

名称

M+NZ2GF2S-60IOLD8_DeviceChg

概要

項目	内容															
機能概要	デバイス交換フラグをONし、断線エラーを検出しないようにします。 また、IO-Linkモードでは入出力を無効、SIOモードでは入出力をOFFにします。 電源ON中にデバイス交換を実施する場合に使用します。															
シンボル	<div><div>M+NZ2GF2S-60IOLD8_DeviceChg</div><table><tr><td>(1) — B:i_bEN</td><td>o_bENO:B</td><td>(6)</td></tr><tr><td>(2) — UW:i_uStart_IO_No</td><td>o_bOK:B</td><td>(7)</td></tr><tr><td>(3) — UW:i_uStation_No</td><td>o_bErr:B</td><td>(8)</td></tr><tr><td>(4) — UW:i_uCH_No</td><td>o_uErrId:UW</td><td>(9)</td></tr><tr><td>(5) — UW:i_uChangeSlct</td><td></td><td></td></tr></table></div>	(1) — B:i_bEN	o_bENO:B	(6)	(2) — UW:i_uStart_IO_No	o_bOK:B	(7)	(3) — UW:i_uStation_No	o_bErr:B	(8)	(4) — UW:i_uCH_No	o_uErrId:UW	(9)	(5) — UW:i_uChangeSlct		
(1) — B:i_bEN	o_bENO:B	(6)														
(2) — UW:i_uStart_IO_No	o_bOK:B	(7)														
(3) — UW:i_uStation_No	o_bErr:B	(8)														
(4) — UW:i_uCH_No	o_uErrId:UW	(9)														
(5) — UW:i_uChangeSlct																

使用ラベル

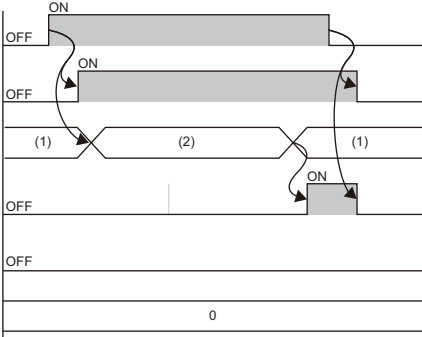
■入力引数

No.	変数名	名称	データ型	有効範囲	内容
(1)	i_bEN	実行指令	ビット	ON, OFF	ON: ユニットFBを起動する。 OFF: ユニットFBを起動しない。
(2)	i_uStart_IO_No	ユニット装着XYアドレス	ワード[符号なし]	CPUユニットの入出力点数に依存	CC-Link IEフィールドネットワークマスタ・ローカルユニットが装着されている先頭入出力番号を指定します。
(3)	i_uStation_No	局番	ワード[符号なし]	1~120	対象のIO-Linkユニットの局番を指定します。
(4)	i_uCH_No	自局使用チャンネル	ワード[符号なし]	1~32	自局から他局へアクセスするためのチャンネルを指定します。
(5)	i_uChangeSlct	デバイス交換選択	ワード[符号なし]	IO-Linkユニット • b00: CH1 • b01: CH2 • b02: CH3 • b03: CH4 • b04: CH5 • b05: CH6 • b06: CH7 • b07: CH8	対象となるデバイスが接続されているIO-Linkユニットのチャンネルを指定します。(例: CH1, CH3, CH6をデバイス交換対象としたい場合は、0025Hを設定してください。)


■出力引数

No.	変数名	名称	データ型	内容	デフォルト値
(6)	o_bENO	実行状態	ビット	ユニットFBの実行状態を出力します。 ON: 実行している。 OFF: 実行していない。	OFF
(7)	o_bOK	正常完了	ビット	ONの場合、ユニットFBの処理が正常完了したことを示します。	OFF
(8)	o_bErr	異常完了	ビット	ONの場合、ユニットFBの処理が異常完了したことを示します。	OFF
(9)	o_uErrId	エラーコード	ワード[符号なし]	異常完了時にエラーコードが格納されます。	0

機能内容

項目	内容	
対象機器	対象ユニット	NZ2GF2S-60IOLD8
	対象ネットワークユニット	<ul style="list-style-type: none"> • RJ71EN71 • RJ71GF11-T2 • RnENCPU(ネットワーク部)
	対象CPU	RCPU
	対象エンジニアリングツール	GX Works3
使用言語	ラダー	
基本ステップ数	281ステップ プログラムに組み込んだFBのステップ数は、使用するCPUユニット、入出力の定義やGX Works3のオプション設定によって異なります。GX Works3のオプション設定については、GX Works3 オペレーティングマニュアルを参照してください。	
機能説明	i_bEN(実行指令)のONにて、i_uChangeSlct(デバイス交換選択)で指定された内容にて、IO-Linkユニットの全チャンネル分のデバイス交換フラグを一括で設定します。デバイス交換フラグについては、CC-Link IEフィールドネットワークリモートIO-Linkユニットユーザーズマニュアルを参照してください。o_bOK(正常完了)およびIO-Linkモード時は、デバイス交換選択にて選択されたIO-LinkユニットのチャンネルのCHLEDが点滅に変化したことを確認後、デバイス交換を実施してください。	
FBコンパイル方式	マクロ型	
FB動作	パルス実行型(複数スキャン実行型)	
FB_ENの入力条件	なし	
入出力信号の動き	<ul style="list-style-type: none"> • 正常完了の場合  <ul style="list-style-type: none"> • 異常完了の場合  <p>(1)未処理 (2)処理 (3)エラーコード</p>	
注意事項	<ul style="list-style-type: none"> • デバイスを交換後、i_uChangeSlct(デバイス交換選択)の対象ビットをOFFに設定してから本ユニットFBを再度実行してください。 • 異常が発生した場合は、o_bErr(異常完了)がONし、ユニットFBの処理を中断します。また、o_uErrld(エラーコード)にはエラーコードが格納されます。 • 本ユニットFBは、REMFRR/REMTO命令を使用しています。本ユニットFBを含め他のユニットFBと同時に動作させる場合やプログラムにてREMFRR/REMTO命令を使用する場合は自局使用チャンネルが重複しないようにしてください。 • 本ユニットFBはi_bEN(実行指令)のONからo_bOK(正常完了)がONするまで数スキャン必要です。 	

エラーコード

エラーコード	内容	処置方法
0100H	局番が1~120以外の値に設定されている。	設定を見直した後、再度ユニットFBを実行してください。
0101H	自局使用チャンネル設定範囲外。自局使用チャンネルが1~32以外に設定されている。	設定を見直した後、再度ユニットFBを実行してください。
D000H~DAF9H	CC-Link IEフィールドネットワークに異常が発生した。	エラーコードを下記マニュアルより参照してください。  MELSEC iQ-R CC-Link IEフィールドネットワークユーザーズマニュアル(応用編)

2.10 M+NZ2GF2S-60IOLD8_EventRd

名称

M+NZ2GF2S-60IOLD8_EventRd

2

概要

項目	内容
機能概要	未確認のイベントのうち最も古いイベント情報を1件読み出します。
シンボル	<div><div>M+NZ2GF2S-60IOLD8_EventRd</div><div><div>(1) — B:i_bEN</div><div>(2) — UW:i_uStart_IO_No</div><div>(3) — UW:i_uStation_No</div><div>(4) — UW:i_uCH_No</div></div><div><div>o_bENO:B</div><div>o_bOK:B</div><div>o_uEventData:UW</div><div>o_bErr:B</div><div>o_uErrId:UW</div></div><div><div>(5)</div><div>(6)</div><div>(7)</div><div>(8)</div><div>(9)</div></div></div>

使用ラベル

■入力引数

No.	変数名	名称	データ型	有効範囲	内容
(1)	i_bEN	実行指令	ビット	ON, OFF	ON: ユニットFBを起動する。 OFF: ユニットFBを起動しない。
(2)	i_uStart_IO_No	ユニット装着XYアドレス	ワード[符号なし]	CPUユニットの入出力点数に依存	CC-Link IEフィールドネットワークマスタ・ローカルユニットが装着されている先頭入出力番号を指定します。
(3)	i_uStation_No	局番	ワード[符号なし]	1~120	対象のIO-Linkユニットの局番を指定します。
(4)	i_uCH_No	自局使用チャンネル	ワード[符号なし]	1~32	自局から他局へアクセスするためのチャンネルを指定します。


■出力引数

No.	変数名	名称	データ型	内容	デフォルト値
(5)	o_bENO	実行状態	ビット	ユニットFBの実行状態を出力します。 ON: 実行している。 OFF: 実行していない。	OFF
(6)	o_bOK	正常完了	ビット	ONの場合、ユニットFBの処理が正常完了したことを示します。	OFF
(7)	o_uEventData	イベント情報	ワード[符号なし]	読み出したイベント情報を格納する先頭デバイスを指定します。	0
(8)	o_bErr	異常完了	ビット	ONの場合、ユニットFBの処理が異常完了したことを示します。	OFF
(9)	o_uErrId	エラーコード	ワード[符号なし]	異常完了時にエラーコードが格納されます。	0

機能内容

項目	内容	
対象機器	対象ユニット	NZ2GF2S-60IOLD8
	対象ネットワークユニット	<ul style="list-style-type: none"> • RJ71EN71 • RJ71GF11-T2 • RnENCPU(ネットワーク部)
	対象CPU	RCPU
	対象エンジニアリングツール	GX Works3
使用言語	ラダー	
基本ステップ数	603ステップ プログラムに組み込んだFBのステップ数は、使用するCPUユニット、入出力の定義やGX Works3のオプション設定によって異なります。GX Works3のオプション設定については、GX Works3 オペレーティングマニュアルを参照してください。	
機能説明	i_bEN(実行指令)のONにて、対象ユニットの未確認のイベントのうち最も古いイベント情報を1件o_uEventData(イベント情報)に読み出します。	
FBコンパイル方式	マクロ型	
FB動作	パルス実行型(複数スキャン実行型)	
FB_ENの入力条件	なし	
入出力信号の動き	<div> <div> <p>• 正常完了の場合</p> </div> <div> <p>• 異常完了の場合</p> </div> </div> <p>(1)イベント情報 (2)エラーコード</p>	
注意事項	<ul style="list-style-type: none"> • 異常が発生した場合は、o_bErr(異常完了)がONし、ユニットFBの処理を中断します。また、o_uErrId(エラーコード)にはエラーコードが格納されます。 • 本ユニットFBはi_bEN(実行指令)のONからo_bOK(正常完了)がONするまで数スキャン必要です。 • 読出したイベント情報の値を格納する先頭デバイスは、局単位イベントデータサイズ分(5ワード)の連続エリアが必要です。局単位イベントデータの詳細については、下記を参照ください。 <p>📖CC-Link IEフィールドネットワークリモートIO-Linkユニットユーザーズマニュアル</p> <ul style="list-style-type: none"> • 本ユニットFBは、REMFR/REMTO命令を使用しています。本ユニットFBを含め他のユニットFBと同時に動作させる場合やプログラムにてREMFR/REMTO命令を使用する場合は自局使用チャンネルが重複しないようにしてください。 	

エラーコード

エラーコード	内容	処置方法
0100H	局番が1~120以外の値に設定されている。	設定を見直した後、再度ユニットFBを実行してください。
0101H	自局使用チャンネル設定範囲外。自局使用チャンネルが1~32以外に設定されている。	設定を見直した後、再度ユニットFBを実行してください。
0200H	既に要求フラグまたは指令フラグがONにされているため、ユニットFBが実行できない。	該当する要求フラグまたは指令フラグをOFFにしてください。その後、再度ユニットFBを実行してください。
D000H~DAF9H	CC-Link IEフィールドネットワークに異常が発生した。	エラーコードを下記マニュアルより参照してください。  MELSEC iQ-R CC-Link IEフィールドネットワークユーザーズマニュアル(応用編)

2.11 M+NZ2GF2S-60IOLD8_EventClr

名称

M+NZ2GF2S-60IOLD8_EventClr

概要

項目	内容												
機能概要	イベント履歴をクリアします。												
シンボル	<div><div>M+NZ2GF2S-60IOLD8_EventClr</div><table><tr><td>(1) — B:i_bEN</td><td>o_bENO:B</td><td>(5)</td></tr><tr><td>(2) — UW:i_uStart_IO_No</td><td>o_bOK:B</td><td>(6)</td></tr><tr><td>(3) — UW:i_uStation_No</td><td>o_bErr:B</td><td>(7)</td></tr><tr><td>(4) — UW:i_uCH_No</td><td>o_uErrId:UW</td><td>(8)</td></tr></table></div>	(1) — B:i_bEN	o_bENO:B	(5)	(2) — UW:i_uStart_IO_No	o_bOK:B	(6)	(3) — UW:i_uStation_No	o_bErr:B	(7)	(4) — UW:i_uCH_No	o_uErrId:UW	(8)
(1) — B:i_bEN	o_bENO:B	(5)											
(2) — UW:i_uStart_IO_No	o_bOK:B	(6)											
(3) — UW:i_uStation_No	o_bErr:B	(7)											
(4) — UW:i_uCH_No	o_uErrId:UW	(8)											

使用ラベル

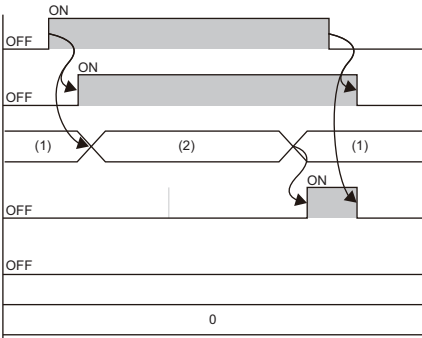
■入力引数

No.	変数名	名称	データ型	有効範囲	内容
(1)	i_bEN	実行指令	ビット	ON, OFF	ON: ユニットFBを起動する。 OFF: ユニットFBを起動しない。
(2)	i_uStart_IO_No	ユニット装着XYアドレス	ワード[符号なし]	CPUユニットの入出力点数に依存	CC-Link IEフィールドネットワークマスタ・ローカルユニットが装着されている先頭入出力番号を指定します。
(3)	i_uStation_No	局番	ワード[符号なし]	1~120	対象のIO-Linkユニットの局番を指定します。
(4)	i_uCH_No	自局使用チャンネル	ワード[符号なし]	1~32	自局から他局へアクセスするためのチャンネルを指定します。


■出力引数

No.	変数名	名称	データ型	内容	デフォルト値
(5)	o_bENO	実行状態	ビット	ユニットFBの実行状態を出力します。 ON: 実行している。 OFF: 実行していない。	OFF
(6)	o_bOK	正常完了	ビット	ONの場合、ユニットFBの処理が正常完了したことを示します。	OFF
(7)	o_bErr	異常完了	ビット	ONの場合、ユニットFBの処理が異常完了したことを示します。	OFF
(8)	o_uErrId	エラーコード	ワード[符号なし]	異常完了時にエラーコードが格納されます。	0

機能内容

項目	内容	
対象機器	対象ユニット	NZ2GF2S-60IOLD8
	対象ネットワークユニット	<ul style="list-style-type: none"> • RJ71EN71 • RJ71GF11-T2 • RnENCPU(ネットワーク部)
	対象CPU	RCPU
	対象エンジニアリングツール	GX Works3
使用言語	ラダー	
基本ステップ数	487ステップ プログラムに組み込んだFBのステップ数は、使用するCPUユニット、入出力の定義やGX Works3のオプション設定によって異なります。GX Works3のオプション設定については、GX Works3 オペレーティングマニュアルを参照してください。	
機能説明	<ul style="list-style-type: none"> • i_bEN(実行指令)をONすることでイベント履歴をクリアします。 • 本ユニットFBはi_bEN(実行指令)のONで1ショットのみ動作します。 	
FBコンパイル方式	マクロ型	
FB動作	パルス実行型(複数スキャン実行型)	
FB_ENの入力条件	なし	
入出力信号の動き	<div> <ul style="list-style-type: none"> • 正常完了の場合  </div> <div> <ul style="list-style-type: none"> • 異常完了の場合  </div> <div> (1)未処理 (2)処理 (3)エラーコード </div>	
注意事項	<ul style="list-style-type: none"> • 異常が発生した場合は、o_bErr(異常完了)がONし、ユニットFBの処理を中断します。また、o_uErrId(エラーコード)にはエラーコードが格納されます。 • 本ユニットFBは、REMF/REMT命令を使用しています。本ユニットFBを含め他のユニットFBと同時に動作させる場合やプログラムにてREMF/REMT命令を使用する場合は自局使用チャンネルが重複しないようにしてください。 • 本ユニットFB実行中に電源OFF、リモートリセットを行わないでください。 • 本FBはi_bEN(実行指令)のONからo_bOK(正常完了)がONするまで数スキャンが必要です。 	

エラーコード

エラーコード	内容	処置方法
0100H	局番が1~120以外の値に設定されている。	設定を見直した後、再度ユニットFBを実行してください。
0101H	自局使用チャンネル設定範囲外。自局使用チャンネルが1~32以外に設定されている。	設定を見直した後、再度ユニットFBを実行してください。
0200H	既に要求フラグまたは指令フラグがONにされているため、ユニットFBが実行できない。	該当する要求フラグまたは指令フラグをOFFにしてください。その後、再度ユニットFBを実行してください。
D000H~DAF9H	CC-Link IEフィールドネットワークに異常が発生した。	エラーコードを下記マニュアルより参照してください。  MELSEC iQ-R CC-Link IEフィールドネットワークユーザーズマニュアル(応用編)

MEMO

M

M+NZ2GF2S-60IOLD8_DeviceParamRd	22
M+NZ2GF2S-60IOLD8_DeviceParamWt	26
M+NZ2GF2S-60IOLD8_EventClr	36
M+NZ2GF2S-60IOLD8_EventRd	33
M+NZ2GF2S-60IOLD8_IOLDeviceChg	30
M+NZ2GF2S-60IOLD8_OutputOnCntClr	13
M+NZ2GF2S-60IOLD8_OutputOnCntRd	10
M+NZ2GF2S-60IOLD8_RemoteBufMemRd	4
M+NZ2GF2S-60IOLD8_RemoteBufMemWt	7
M+NZ2GF2S-60IOLD8_UnitParamRd	16
M+NZ2GF2S-60IOLD8_UnitParamWt	19

MEMO

改訂履歴

*取扱説明書番号は、本説明書の裏表紙の左下に記載してあります。

改訂年月	*取扱説明書番号	改訂内容
2018年10月	BCN-P5999-1047-A	初版

本書によって、工業所有権その他の権利の実施に対する保証、または実施権を許諾するものではありません。また本書の掲載内容の使用により起因する工業所有権上の諸問題については、当社は一切その責任を負うことができません。

© 2018 MITSUBISHI ELECTRIC CORPORATION

商標

IO-Linkは、PROFIBUS Nutzerorganisation e.V.の登録商標または商標です。

本文中における会社名、システム名、製品名などは、一般に各社の登録商標または商標です。

本文中で、商標記号(™, ®)は明記していない場合があります。

三菱電機株式会社 〒100-8310 東京都千代田区丸の内2-7-3 (東京ビル)

仕様・機能に関するお問い合わせ

製品ごとにお問い合わせを受け付けております。

●電話技術相談窓口 受付時間※1 月曜～金曜 9:00～19:00、土曜・日曜・祝日 9:00～17:00

対象機種		電話番号
エッジコンピューティング製品	産業用PC MELIPC (MI5000/2000/1000)	052-712-2370※2
シーケンサ	MELSEC iQ-R/Q/L/QnAS/AnSシーケンサ一般	052-711-5111
	MELSEC iQ-F/FXシーケンサ全般	052-725-2271※3
	ネットワークユニット/シリアルコミュニケーションユニット	052-712-2578
	アナログユニット/温調ユニット/温度入力ユニット/高速カウンタユニット	052-712-2579
	MELSOFT シーケンサプログラミングツール MELSOFT GXシリーズ	052-711-0037
	MELSOFT 統合エンジニアリング環境 MELSOFT iQ Works (Navigator)	052-799-3591※2
	iQ Sensor Solution	
	MELSOFT 通信支援ソフトウェアツール MELSOFT MXシリーズ	052-712-2370※2
	MELSECパソコンボード Q80BDシリーズなど	
	C言語コントローラ	052-799-3592※2
	MESインタフェースユニット/高速データロガーユニット	
	MELSEC計装/iQ-R/Q二重化	052-712-2830※2※3
センサ MELSENSOR	プロセスCPU/二重化CPU (MELSEC-Qシリーズ)	
	プロセスCPU/二重化機能 SIL2プロセスCPU (MELSEC iQ-Rシリーズ)	
	MELSOFT PXシリーズ	052-712-3079※2※3
	MELSEC Safety	
表示器	安全コントローラ (MELSEC-WSシリーズ)	052-719-4557※2※3
	電力計測ユニット/絶縁監視ユニット QE8□シリーズ	
サーボ/位置決めユニット/シンプルモーションユニット/ モーションコントローラ/センシングユニット/ 組込み型サーボシステムコントローラ	レーザ変位センサ	052-799-9495※2
	ビジョンセンサ	
	GOT2000/1000シリーズなど	052-712-2417
	MELSOFT GTシリーズ	
	MELSERVOシリーズ	052-712-6607
	位置決めユニット (MELSEC iQ-R/Q/L/AnSシリーズ)	
	シンプルモーションユニット (MELSEC iQ-R/iQ-F/Q/Lシリーズ)	
	モーションCPU (MELSEC iQ-R/Q/AnSシリーズ)	
	センシングユニット (MR-MTシリーズ)	
	シンプルモーションボード	
	C言語コントローラインタフェースユニット (Q173SCCF)/ポジジョンボード	
センサレスサーボ	MELSOFT MTシリーズ/MRシリーズ/EMシリーズ	052-722-2182
	FR-E700EX/MM-GKR	
インバータ	FREQROLシリーズ	052-722-2182
三相モータ	三相モータ225フレーム以下	0536-25-0900※2※4
ロボット	MELFAシリーズ	052-721-0100
電磁クラッチ・ブレーキ/テンションコントローラ		052-712-5430※5
データ収集アナライザ	MELQIC IU1/IU2シリーズ	052-712-5440※5
低圧開閉器	MS-Tシリーズ/MS-Nシリーズ	052-719-4170
低圧遮断器	US-Nシリーズ	
電力管理用計器	ノーヒューズ遮断器/漏電遮断器/MDUブレーカ/気中遮断器 (ACB) など	052-719-4559
省エネ支援機器	電力計/計器用変成器/指示電気計器/管理用計器/タイムスイッチ	052-719-4556
小容量UPS (5kVA以下)	EcoServer/E-Energy/検計システム/エネルギー計測ユニット/ B/NETなど	052-719-4557※2※3
	FW-Sシリーズ/FW-Vシリーズ/FW-Aシリーズ/FW-Fシリーズ	052-799-9489※2※6

お問い合わせの際には、今一度電話番号をお確かめの上、お掛け間違いのないようお願い致します。
※1：春季・夏季・年末年始の休日を除く ※2：土曜・日曜・祝日を除く ※3：金曜は17:00まで ※4：月曜～木曜の9:00～17:00と金曜の9:00～16:30
※5：受付時間9:00～17:00 (土曜・日曜・祝日・当社休日を除く) ※6：月曜～金曜の9:00～17:00

●FAX技術相談窓口 受付時間 月曜～金曜 9:00～16:00 (祝日・当社休日を除く)

対象機種	FAX番号
電力計測ユニット/絶縁監視ユニット (QE8□シリーズ)	084-926-8340
三相モータ225フレーム以下	0536-25-1258※7
低圧開閉器	0574-61-1955
低圧遮断器	084-926-8280
電力管理用計器/省エネ支援機器/小容量UPS (5kVA以下)	084-926-8340

三菱電機FAサイトの「仕様・機能に関するお問い合わせ」もご利用ください。
※7：月曜～木曜の9:00～17:00と金曜の9:00～16:30 (祝日・当社休日を除く)

三菱電機 FA

検索

www.MitsubishiElectric.co.jp/fa

メンバー登録無料!

インターネットによる情報サービス「三菱電機FAサイト」

三菱電機FAサイトでは、製品や事例などの技術情報に加え、トレーニングスクール情報や各種お問い合わせ窓口をご提供しています。また、メンバー登録いただくとマニュアルやCADデータ等のダウンロード、eラーニングなどの各種サービスをご利用いただけます。

本マニュアルは、輸出する場合、経済産業省への役務取引許可申請は不要です。

BCN-P5999-1047-A(1810)

2018年10月作成

本マニュアルは、お断りなしに仕様を変更することがありますのでご了承ください。